

## 自分に合った会社探し

# 雰囲気確かめる講習会

商品先物会社を選ぶ基準はいくつもありますが、最終的に多くの投資家が重視するのは、やはり手数料の額とサービスの質に落ち着くようです。

もちろん資産運用の仲介を任せるので、すから会社に倒産されては困ります。しかし、先物会社は法律で厳しい財務基準と顧客資産の分離保管が義務づけられており、その順守状況は主務官庁や商品取引所など複数の機関によって二重三重に監視されています。また万一の場合には1000万円を上限としたペイオフの仕組みも備えていますから、会社の倒産で資産を失う可能性を心配しすぎる必要はないでしょう。

### ネットで簡単検索

先物会社の情報を得るにはインターネットが便利です。試みに「商品先物取引」をキーワードに検索すると、複数の先物会社と同時に商品先物取引に特化した比較サイトがヒットします。

比較サイトは、例えば手数料の額や取扱商品で各社の違いを見るのに便利ですが、掲載されているのはスポンサー会社のみ。すべての会社を知るには日本商品先物振興協会（先物協会、www.jcfia.

### 商品さきもの知識普及委員会ミニセミナー(入場無料)

**内容** ① 商品先物取引の魅力

② 先物取引の仕組み

③ 先物取引のリスク

④ 先物投資での心構えほか

**講師** 甘利重治氏(東京工業品取引所広報部長)

**日時** 7月31日(金)午後7時~8時30分

**申込** 詳細はwww.sakimonofukyu.comから

**定員** 30人程度(応募多数の場合は抽選)

gr.jp)のサイトを足掛かりにすることをお勧めします。

同サイトの検索システムでは、投資家が自分のニーズに合った先物会社のサイトに簡単にいきつけるよう工夫が凝らされています。「対面取引」「ネット取引」といった取引方法の違い、商品ファンドの取り扱いの有無、証券やFX(外国為替証拠金取引)との兼業、株式の公開・非公開などを条件に検索をかければすぐさま候補が見つかります。そこから各社のサイトを訪問すれば取扱商品、手数料額、最低預かり金のあるなし、情報提供メニューなど、取引に直接必要な情報に加え、会社概要、勧誘ポリシーといった

経営姿勢を知ることができるのです。

### 無料セミナーへの参加

ネットだけではなく、実際に会社の雰囲気確かめてみたいと考える投資家も多いはず。もちろん店頭で足を運ぶのもよいでしょうが、もう一歩進んで投資家セミナーや市況講演会に参加する方法もあります。先物協会サイトの「セミナー情報」をクリックして、近く予定されているセミナーをチェックしてください。

先物協会が提供するセミナーは、ほとんどの場合、無料で参加が可能です。タイトルは上場商品の市況解説でも、商品

## 新・商品先物入門

⑭

日本商品先物振興協会

小島 栄一

先物相場は為替動向や世界の政治経済情勢と密接なかわりがありますから、商品の知識がなくても経済セミナーとして十分に楽しむことができます。

もちろんセミナーに参加したからといって、その先物会社に取引口座を開設する必要はありません。いくつか異なる会社のセミナーを受講し、会を運営する社員に接することで、だんだんとその会社の雰囲気がつかめてくるはず。口座開設はそれからでも遅くはありません。

先物協会だけでなく、商品取引所と先物協会で構成する「商品さきもの知識普及委員会」も毎月ミニセミナーを提供しています。同ミニセミナーは初心者または未経験者を対象とし、少人数制で、商品先物取引の魅力やリスク、取引の心構え、テクニックを伝えることを目的としています。7月の開催は31日午後7時から。営業活動は伴いませんので、お気軽に参加ください。(詳細はwww.sakimonofukyu.com)

写真は第1回ミニセミナー(6月26日、東京都中央区)の東京穀物商品取引所